

第 1 回 静岡市静岡地区 L R T 導入検討協議会

- 1 日 時 平成 2 5 年 1 月 2 3 日 (水) 1 5 時 0 0 分 ~ 1 6 時 3 0 分
- 2 場 所 静岡市役所 静岡庁舎本館 3 階 第 1 委員会室
- 3 出席者 (委 員) 久保田会長、坪井委員、山本委員、櫻井委員、
小股委員、村松委員、北村委員、丹羽委員(代理)、
柳沢委員(代理)、風間委員
(事務局) 小長谷都市計画部長、小林参与兼交通政策課長、
吉川統括副主幹、竹下主査、鏡味主任技師
- 欠 席 者 (委 員) 瀧委員
- 5 議 題 (1) 静岡市の現状と L R T 導入の必要性
- 6 会議内容
- (1) 開会
 - (2) 開会あいさつ
 - (3) 協議会の設立について
 - (4) 会員紹介
 - (5) 会長選出
 - (6) 議題説明
 - (7) 意見交換
 - (8) 閉会

○会長選出

会員の互選により、埼玉大学大学院 久保田尚教授が本協議会会長に選出された。

○議題説明

(1) 静岡市の現状と L R T 導入の必要性

以下の事項を事務局より説明

- ・ 静岡市のまちづくりと交通のありかた
- ・ 静岡都心と清水都心のまちづくりを踏まえた、基幹となる公共交通の連携の
必要性・考え方
- ・ 静岡型コンパクトシティのイメージ
- ・ 静岡都心における現状と課題から導く L R T の必要性
- ・ 静岡都心における L R T 導入のイメージ
- ・ L R T 導入効果 (富山市の事例)

○意見交換

～L R T整備の目的と実現に向けた市民との協調～

- ・市街地に導入するL R Tでは、自動車交通との関係が大きなテーマである。流入規制などの施策に対して市民から理解を得るためには、そのことが快適なまちづくりと地域の活性化に繋がる効果を示す必要がある。
- ・L R Tがまちづくりの手段として位置づけられていることは理解するが、更に商工業活性化、高齢化対策、過疎化対策などの生活に直結する多面的な切り口からも議論する必要がある。
- ・L R Tの計画では地域との調和も重要な事項であるので、地元の意見を反映できる態勢が望まれる。

～ルート～

- ・現在の案では、整備効果の観点から中心市街地を主体としたルートが設定されているが、将来はその他の地域への延伸も見据えているのか。
- ・新静岡やJR 静岡駅前は近年整備が終わった状況であり、L R T線路の乗り入れに市民の理解が得られるかが鍵となる。
- ・L R Tは公共交通体系の一翼を担うものであり、バス等との結節に留意した連携策を重視する必要がある。